

平成27年第4回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成27年第4回定例会一般質問通告順

日付	順番	議 員 名	会 派 名
12 月 1 日	1	野 田 宏 規	流 政 会
	2	中 川 弘	自 由 民 主 党
	3	森 田 洋 一	新 風 流 山
	4	西 川 誠 之	新 風 流 山
	5	野 村 誠	公 明 党
	6	大 塚 洋 一	流 政 会
12 月 2 日	7	加 藤 啓 子	自 由 民 主 党
	8	藤 井 俊 行	新 風 流 山
	9	西 尾 段	新 風 流 山
	10	戸 辺 滋	公 明 党
	11	笠 原 久 恵	流 政 会
	12	秋 間 高 義	公 明 党
12 月 3 日	13	森 亮 二	流 政 会
	14	根 本 守	自 由 民 主 党
	15	楠 山 栄 子	新 風 流 山
	16	石 原 修 治	流 政 会
	17	近 藤 美 保	流 政 会
	18	坂 巻 儀 一	流 政 会
12 月 4 日	19	小田桐 仙	日 本 共 産 党
	20	徳 増 記代子	日 本 共 産 党
	21	植 田 和 子	日 本 共 産 党
	22	乾 紳一郎	日 本 共 産 党
	23	斉 藤 真 理	公 明 党
	24	阿 部 治 正	

質問事項	要 旨
1 政策法務力について	<p>( 1 ) 政策法務推進事業の進捗はどうか。</p> <p>( 2 ) 政策法務研修によって、どのような職員を育成できるのか。また、その育成の成果によって、どのような庁内体制が実現するのか。</p> <p>( 3 ) 政策法務研修において、独自の条例案を一から作り上げるワークショップを行ってはどうか。</p>
2 流山おおたかの森駅前市有地活用事業について	<p>( 1 ) 当該地域にはどのような都市機能が構想されているのか。</p> <p>( 2 ) 当該地域による経済振興について、以下のとおり問う。                      ア 当該地域へは、どのような企業の誘致が望ましいと考えているのか。                      イ 当該地域を起業支援の拠点としてはどうか。                      ウ 当該地域において、起業促進イベントを行ってはどうか。</p> <p>( 3 ) 当該地域の公共施設について、以下のとおり問う。                      ア 当該施設には、どのようなサービスが備えられるのか。                      イ 当該施設に、職員をどのように配置するのか。                      ウ 起業及び就労支援のため当該施設に、商工課の職員を配置してはどうか。</p>
3 子育てに適した街の整備について	<p>( 1 ) ( 仮称 ) 十太夫近隣公園に関して、どのような公園を計画しているのか。</p> <p>( 2 ) 宮園・鱒ヶ崎等に位置する、坂川沿いの河川管理用通路に関して、自転車と歩行者の接触が懸念されるが、看板を立てる等の対策はできないのか。</p> <p>( 3 ) 南流山駅北口のロータリーに関して、スロープ付近に大きな凹みがあるが、修繕はいつになるのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山おおたかの森駅前市有地活用事業優先交渉権者選定手続きについて問う</p>	<p>( 1 )流山おおたかの森駅前市有地活用事業優先交渉権者についてスターツコーポレーション(株)に決定した旨の報告が去る 1 1 月 1 7 日開催された全員協議会においてなされた。私が本年第 2 回定例会で流山セントラルパーク駅前市有地活用事業においてその選定に重大な疑念があると指摘したスターツコーポレーション(株)が再び選定されたことに驚きと疑念を禁じ得ない。従って、優先交渉権者選定に関わる手続きを明らかにすべく以下について問う。</p> <p>ア 流山おおたかの森駅前市有地取得のための費用は総額いくらか。</p> <p>イ スターツコーポレーション(株)の案が他の提案に対し優れていると判断した根拠は何か。</p> <p>ウ 事業者選定委員会の構成員は誰で、構成員選定の根拠は何か。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 平成 2 8 年度予算編成方針について問う</p>	<p>( 1 ) つくばエクスプレス沿線を中心とした都市基盤整備を進める中、共働き子育て世代を中心に本市の人口は、依然増加傾向にある。これに伴い納税義務者が増え、市税が増加となり、明るい兆しも見えてきている。本市では、新規の体育館や小中学校併設校建設といった大規模プロジェクトが終了した中で、平成 2 8 年度の予算の特徴や重点施策は何か。</p>
<p>2 本市が進めてきたマーケティング戦略の評価と今後の施策について</p>	<p>( 1 ) マーケティング専門部署設置の成果をどう評価しているのか。流山のブランドイメージ向上やブランドを資産として継続するためのプロモーション戦略をどのように考えているのか。</p> <p>( 2 ) 交流人口増加のために必須となる施策をどう捉えているのか。</p>
<p>3 地域防災に関わる危機管理対策について問う</p>	<p>( 1 ) 下期実施計画に位置付けが予定されている地域防災計画の見直しに際しては、最悪の事態、例えば、江戸川の氾濫、流山市を震源とした直下型地震、原子力発電所の事故などを想定して行政が早急に動けることを主眼にした内容を計画に組み入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>( 2 ) 危機管理対策として、先進自治体の姫路市や札幌市が実施している、危機に対する分類わけした危機管理方針を参考に、本市でも同様の綱や指針を作成してはどうか。また、自然災害、人的災害、パンデミックなど一元化して管理する市長直轄の危機管理組織を設置してはどうか。</p>
<p>4 学校教育に関わる危機管理対策について問う</p>	<p>( 1 ) 教育現場における現在の危機管理マニュアルに児童や学校の施設に対する新たな脅威等に対応した内容を組み入れるべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 高齢者介護問題について</p>	<p>(1) 特別養護老人ホーム待機高齢者関連の実態と今後について以下のとおり当局の見解を問う。</p> <p>ア 平成27年度より施行された介護保険法に基づく本市の待機高齢者は、本年7月1日現在333人と報告されているが、潜在待機者の状況について問う。</p> <p>イ 平成27年度から平成29年度までの第6期高齢者支援計画(高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)に基づく特別養護老人ホーム整備計画の進捗状況と潜在待機者の受け入れをも含めた対応状況について問う。</p> <p>ウ 本市の介護職員の充足状況及び今後の対応について問う。</p> <p>エ 介護職員を安定的に確保するために、介護福祉士養成施設に在学するための就学資金貸付及び船橋市が本年4月から実施している家賃補助制度を本市でも導入すべきと考えるがどうか。</p> <p>オ 安倍内閣が掲げるアベノミクス第2ステージで2020年までに「介護離職者ゼロ」とうたわれている。現状では県内5,700人と報道されているが本市の状況について問う。</p>
<p>2 杭打ち工事に係る問題について</p>	<p>(1) 千葉県が旭化成建材(株)に発注した3件のうち、県立市野谷の森公園放流施設であることが報道された。このことについて本市へはその後の報告はあったのか。</p> <p>(2) 本市発注の公共施設のみならず民間の建築物についても安全確認すべきと思うが当局の見解を問う。</p>
<p>3 環太平洋経済連携協定(TPP)の影響と本市農業の活性化について</p>	<p>(1) 本市農業への影響について問う。</p> <p>ア TPPによりマイナスの影響を受ける農産品は本市にあるのか。また農業従事者からの反応について情報収集されたか。内容はどうか。</p> <p>(2) 今後の本市の農業の活性化の方向について問う。</p> <p>ア 本市の農業活性化は「地産地消」を中心に、都市農業に徹すべきと考えるが、その方向性について当局の見解を問う。</p> <p>イ 農地集約のための政策として「農地中間管理機構(農地バンク)」が昨年度より始動しているが、本市での進捗状況・成果について問う。</p> <p>ウ 若手農業従事者の成功事例はあるか。更にそれを拡大集積(仲間集め)しやすくする支援策を用意すべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 本市の防災対策について</p>	<p>( 1 ) 南部地域の洪水対策について以下のとおり問う。                      ア 江戸川・坂川の堤防が決壊または氾濫した場合の避難場所及び避難所等の確保、整備について問う。                      イ 沿川住民・浸水想定区域の住民を対象に大規模な水害を想定した避難計画の見直しや避難訓練を実施すべきと思うが当局の見解を問う。                      ( 2 ) 地域の防災力の向上のため、災害対応カードゲームのクロスロードや避難所運営を模擬体験するゲームの H U G、簡易型災害図上演習の D I G 等を取り入れ、ソフト面での周知徹底を図るべきと思うが当局の見解を問う。</p>
<p>2 流山本町の活性化について</p>	<p>( 1 ) 流山駅前通りの道路、市道 4 2 0 0 8 号線は、道路の形状が悪く、左右に段差があるため、安全のためにも道路を整備する必要があると考える。そこで、この通りは、市長が推進するツーリズムの観点から流山本町活性化に繋げるための重要な道路であることから、切り絵行灯が似合うような街並みにふさわしい石畳みのようなものを備えた安全な道路整備をすべきと思うが、当局の見解を問う。</p>
<p>3 18歳選挙権の実現に伴う若者の投票率向上策について</p>	<p>( 1 ) 来年夏の参議院議員選挙から選挙権年齢を現在の 2 0 歳以上から 1 8 歳以上に引き下げられることとなった。近年、若者をはじめとする有権者の投票率が低下傾向にある中で、今後若者が投票しやすい環境を一層整備するために、投票機会の創出や投票の利便性の向上を図り、投票率向上に向けた対策を図るべきと思う。そこで、以下 2 点について当局の見解を問う。                      ア 期日前投票所を大学のキャンパス内に設置した結果、2 0 歳代前半の投票率が 2 . 7 2 % 上がった愛媛県松山市の成功事例があるが本市でも取り入れたらどうか。                      イ 選挙権年齢が 1 8 歳以上に引き下げられることから、若者の政治や選挙への関心を高めるため、「主権者教育」への取り組みが活発になっている。先進事例として岐阜県可児市では高校生議会・地域課題懇談会などを取り入れて若者と地域のつながり、政治参加意識の向上を図っている。本市でも取り入れるべきと思うが当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 環境政策について</p>	<p>(1)地球温暖化防止に関し、今年末COP21が開催され環境に関する取り組みの大切さが問われている。流山市も「都心から一番近い森のまち」といったキャッチフレーズやグリーンチェーン戦略等に取り組んでいるが、以下の4点について問う。</p> <p>ア COP21の取り組みを受け、流山市の環境政策の特徴と今後について問う。</p> <p>イ 岡山県岡山市が実施しているBDF事業及び国内クレジット制度を本市でも導入すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 奈良県生駒市が実施している環境モデル都市政策を本市でも導入すべきと考えるがどうか。</p> <p>エ グリーンバスを大気汚染物質排出が少なく環境への負荷が少ない低公害車にしてはどうか。</p>
<p>2 江戸川堤防について</p>	<p>(1)昨今の異常気象の関係も問われている今年9月の関東・東北豪雨で起きた鬼怒川の堤防決壊を受け、流山市においても江戸川堤防の決壊対策について万全を期す必要があると考えられる。危機管理の観点から以下の3点について問う。</p> <p>ア 鬼怒川の堤防決壊について当局はどのように認識しているか。</p> <p>イ 江戸川堤防が万が一決壊した場合の優先順位や備えについて本市の対応について問う。</p> <p>ウ 周辺住民への周知徹底について問う。</p>
<p>3 南部地域の活性化について</p>	<p>(1)地域の防災拠点や地域のふれあいの場等の活用が求められている流山8丁目の千葉県教職員住宅の跡地利用について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市の国際姉妹都市の締結について</p>	<p>(1)現在利根運河の設計者である、ムルデル氏との関係においてオランダの都市を国際姉妹都市候補地として市は考え、まずはオリンピックの際に卓球のオランダチームのキャンプ地とするよう市は動いていると仄聞するが、具体的にどのような取り組みを行っているのか。</p> <p>(2)市制施行50周年記念事業に向けて国際姉妹都市の締結は考えているのか。</p>
<p>2 放射能汚染土のその後の処理について</p>	<p>(1)放射能汚染土を自区内埋設した仮保管場所についてはどのように管理をしているのか。</p> <p>(2)市が借りている土地を地権者に返却する際、原状回復して返却すべきと思うが、汚染土が埋設されている土地についてはどのように対応しているのか。</p>
<p>3 市内における雇用問題について</p>	<p>(1)流山市は自治体の経営戦略として共働きの子育て世帯の誘致を中心に行っているが、実際に共働き世帯はどの程度誘致されているか等の分析は行っているのか。</p> <p>(2)人生設計を行う上で、どのようにして生活の糧を得るのかは大事な要素の一つとなる。雇用の安定が図られ、経済的に自立できる人が多いことが市の安定にも繋がると思うが、正規社員の雇用促進や起業支援について市はどのような施策を実施し、その成果はどのように検証しているのか。</p> <p>(3)第二、第三物流センターができることにより雇用はどのくらい見込まれると予測しているのか。</p>
<p>4 流山市職員の雇用改善について</p>	<p>(1)流山市において正規職員を減らし、臨時職員を増やしている実態がある。安定した雇用の促進を考えると足元から改善する必要があると判断するが市長の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 上新宿防災広場の今後の活用について</p>	<p>( 1 ) 北部地域の新たな防災拠点である上新宿地区市有地防災広場では、本年度、防災備蓄倉庫等緊急時の避難場所としての整備が行われている。そこで、今後、避難所としての機能を有し、また、地域コミュニティ醸成の場として活用できる施設を設置する考えはないのか。</p>
<p>2 保育人材の確保策について</p>	<p>( 1 ) 首都圏近郊の地域では、保育士人材の不足が深刻である。東京都に隣接する本市においても、人口急増に対応して施設整備はするものの、保育士不足により定員を減らしたり、休日保育を中止した保育所もあると仄聞している。待機児童の解消を目指す本市として、このような状況にどのように対処していくのか。</p> <p>( 2 ) 保育所の人材不足だけでなく、放課後学童クラブの支援員、ファミリーサポートセンターのサービス提供会員、小規模保育事業所の保育従事者などの人材確保も必要である。子ども・子育て支援新制度において実施される「子育て支援員研修」を市としてどのように取り組んでいくのか。</p>
<p>3 初石駅東口開設について</p>	<p>( 1 ) 平成 27 年第 2 回定例会で質問した初石駅東口開設について、現在の進捗状況と今後の計画について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市政への市民参加による地域の活性化について</p>	<p>( 1 )平成 2 9 年に市制施行 5 0 周年を迎えるにあたり、本市では記念式典を予定しているが、5 0 周年は市にとって大きな節目であり、市政に対して市民の関心が高まる良い機会である。これを機会に幅広い市民に市政に関心を持ってもらい、継続的に参加してもらうことで地域の活性化にもつなげると考えている。そこで以下のような記念事業を検討してみてもどうか。</p> <p>ア 幅広い市民から流山市の将来についての意見を取り入れるための各種議会（子供、女性、パパ、壮年など）を開催してはどうか。</p>
<p>2 小中学生のスマートフォン等の使用時間制限について</p>	<p>( 1 )小中学生のスマートフォン利用について、各家庭でルールがあたりなかったりする現状である。一部の家庭のみ厳しい制限を設けることで、その子供が仲間はずれやいじめの対象になることが考えられる。他の自治体では、市や県の単位で規制や、努力義務的な意味でのガイドラインを定めている自治体も出始めており、流山市でも検討を進めるべきと考えるが、そこで以下 2 点について問う。</p> <p>ア 流山市内で統一のルールを設け、保護者による努力義務等を設けてはどうか。</p> <p>イ 市での統一が難しい場合、小中学校の単位などで一定の制限を設けてはどうか。</p>
<p>3 地域コミュニティ活性化のための公園利用について</p>	<p>( 1 )防災の観点からも日ごろから地域のつながりを強めておくことが重要と考える。そのためには、地域の祭りなどで近所の人々が集まってざっくばらんな話をしたり、知らない人同士でも友達になれる機会を多く持ったりすることが良いと考える。例えば近所で仲良くなるためにはバーベキューなどで食事を共にすることも有効な手段の一つである。市内の公園などでバーベキューができる場所が少なく、増やした方が良いと思うが以下 2 点について問う。</p> <p>ア 総合運動公園にバーベキュー場を設置する計画があるが、その計画の進捗状況はどうか。</p> <p>イ その他の公園などでもバーベキューをできるようにしてはどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 橋梁の維持管理について</p>	<p>( 1 ) 防災や、橋の長寿命化を図り維持管理コストを削減するとの目的から、本市においても平成 24 年に「流山市橋梁長寿命化修繕計画」を策定している。そこで以下について問う。</p> <p>ア これまでの点検結果と修繕状況について</p> <p>イ 市のホームページ等には点検結果や修繕状況について公表されていない。市民の不安を解消するため、ホームページ等で公表すべきと思うがどうか。</p>
<p>2 大橋団地区域の冠水対策について</p>	<p>( 1 ) 本年 9 月に発生した台風 18 号の影響により、大橋団地区域の冠水が懸念されたことから避難勧告が出された。この区域の市民の不安を解消するため、大橋団地周辺の冠水対策を早急に講ずるべきと思うがどうか。</p>
<p>3 防犯対策について</p>	<p>( 1 ) 流山市では犯罪を未然に防止し、安心して安全な街づくりを目指して多くの自治会が自主防犯パトロール隊を結成し活動を展開している。そこで以下について問う。</p> <p>ア 現在、市内にはいくつの自主防犯パトロール隊が結成されているのか。また、その活動をどのように認識し行政が関わっているのか。</p> <p>イ 自主防犯パトロール隊の更なる拡充に向け本市の今後の取り組みについて問う。</p> <p>ウ 市川市では、個人でも登録制によりジョギングや犬の散歩をしながら気軽にパトロールを行うことができる「いちかわボランティアパトロール」を推進している。本市においても同様の取り組みを行うべきと思うがどうか。</p>
<p>4 道路の安全対策について</p>	<p>( 1 ) 都市計画道路 3・5・23 号江戸川台駒木線、熊野神社近くの交差点への右折信号機の設置について</p> <p>( 2 ) 流山おおたかの森駅東口ロータリーの混雑解消と、障がい者等優先レーンの安全対策について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 平成 28 年 4 月から始まる電力の小売全面自由化の対応について</p>	<p>(1)平成 24 年 1 月 1 日から本市の大型公共施設は安く環境負荷の低い電力を調達するため民間の特定規模電気事業者を含めた電力調達を行っているが、その効果について問う。</p> <p>(2)電力の小売全面自由化に伴い、本市の小規模公共施設に対し電力供給先を見直していく考えはあるのか。</p>
<p>2 流山市の保育について</p>	<p>(1)本市では、保育所入所選考基準に基づき選考を行い、保育を必要とする度合いの高い順に入所児童を決定している。そこで、以下問う。</p> <p>ア 現在の保育所入所選考基準表はどのような点を考慮して策定したのか。</p> <p>イ ひとり親家庭に対する加点が近隣市に比べ低い。他市との均衡を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 障がい児の入園受け入れ状況について問う。</p> <p>(2)東部地区の待機児童が増えているが、その対策について問う。また、東部地区における送迎保育ステーションの実現の可能性について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 教育行政について	<p>( 1 )北部中学校区にモデル事業として設置された学校地域支援本部の実践を全中学校区への拡充に向けた取り組みの進捗状況と今後の見通しについて問う。</p> <p>( 2 )流山市が、独自にモデルケースとして小中学校への学校図書館担当職員の配置をすべきと考えるが当局の見解を問う。</p>
2 引きこもり対策について	<p>( 1 )引きこもりに対する社会復帰支援を行うべきと考えるが当局の見解を問う。</p>
3 コンビニ交付について	<p>( 1 )マイナンバー制度の実施に併せて各種証明書のコンビニ交付を実施すべきと考えるが当局の見解を問う。</p>
4 名都借跨線橋道路拡幅事業について	<p>( 1 )名都借跨線橋道路拡幅事業の進捗状況と今後の見通しについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 産業政策について</p>	<p>(1) 国と地方自治体にとって強い経済を復活させるためには地域産業の振興や育成が重要になると思われる。そこで以下 6 点について問う。</p> <p>ア 流山市の経済状況をどのように捉えているのか。</p> <p>イ 商工会が商工会議所に組織を移行して 5 年が過ぎた。当局は移行したことによる成果をどのように捉えているのか。</p> <p>ウ 創業支援事業計画関連の取り組み状況はどうか。</p> <p>エ 「平成 26 年度経済センサス基礎調査」などの各種調査の結果をどのように市政に生かしていく考えか。</p> <p>オ TPP 協定交渉の大筋合意が図られた。当市にもたらす可能性や影響をどのように捉えているのか。</p> <p>カ 産業政策における県との連携や役割分担についての見解を問う。</p>
<p>2 公共交通政策について</p>	<p>(1) 都市機能を高めるためにバス施策の更なる充実強化が期待される。そこで以下 4 点について問う。</p> <p>ア 空港直結のシャトルバスの進捗はどうか。</p> <p>イ ぐりんバス運行時間の延長について問う。</p> <p>ウ 高齢者割引制度を導入すべきだと思うがどうか。</p> <p>エ 高齢化地域の支援やツーリズム推進に繋げるバス路線の確立を図るべきだと思うがどうか。</p>
<p>3 障がい者就労について</p>	<p>(1) 社会的自立に向けて障がい者就労の機会拡充が期待されている。そこで以下 3 点について問う。</p> <p>ア 市内企業の障がい者雇用の実態はどのようになっているのか。</p> <p>イ 障害者就労継続支援 A 型事業所の市内での設置の見通しについて問う。</p> <p>ウ 障がい者への運賃助成の流山市障害者支援施設等通所交通費助成の拡充について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢について問う</p>	<p>(1) 市長就任後の市政における行政課題について以下のとおり問う。</p> <p>ア 国の緊急経済対策を含め、市長が予算措置を行い、補助金が付かなかった又は減額となったものについて</p> <p>イ マーケティング課を廃止すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 行政の効率化を図るため、マーケティング課、誘致推進課、流山本町・利根運河ツーリズム推進室を統合する考えはないのか。</p> <p>(2) ぐりんバスについて以下のとおり問う。</p> <p>ア 新しい路線の開拓はないのか。</p> <p>イ いつまで補助金の限度額を5千万円とするのか。</p>

質問事項	要 旨
1 高齢者に係る情報提供について	<p>(1) 高齢者に係る制度や仕組み、施設等の状況が刻々変化する中で、市民にいかにかわりやすく、見やすく、そして、スピーディに情報周知するかは、行政サービスの大きな課題であると考えます。以下について問う。</p> <p>ア 平成24年第4回定例会で私が一般質問した認知症関連の地域資源マップは整理され、わかりやすく、見やすいと思うが、その後の作成の進捗状況について問う。</p> <p>イ 在宅医療・在宅介護地域資源マップ、摂食嚥下関連医療資源マップの作成の可能性について問う。</p>
2 発達障害対策について	<p>(1) 文部科学省の実態調査(「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」)では、通常学級で「発達障害」の可能性のある児童生徒は6.5%、そのうち、38.6%が「いずれの支援も受けていない」という調査結果が出ている。流山市の現状と課題について、以下問う。</p> <p>ア 学習面又は行動面で著しい困難を示すとされる児童生徒に対し、流山市はどのような対応がとられるのか。課題はないか。</p> <p>イ 今回の実態調査では「指導法については、教員が十分に理解できていない可能性がある」という指摘があるが、流山市の現状はどう認識しているのか。</p> <p>ウ 教育委員会において、職員、教員、心理学の専門家、医師等から構成される「専門家チーム」の設置や巡回相談の実施が望ましいとされているが、流山市の現状はどうか。</p>
3 流山市地域防災訓練のあり方について	<p>(1) 「災害は忘れた頃にやってくる」と言われるが、阪神・淡路大震災から20年、東日本大震災から4年経過した今、本市の防災訓練のあり方について問う。</p> <p>ア 内閣府で呼びかけている「防災訓練の日常化」について、流山市はどんな創意と工夫で取り組んでいるのか。</p> <p>イ 最近、児童生徒、PTA、自治会、消防団、市当局等々が協力して、実際に、避難所に宿泊体験をする自治体が増えている。児童生徒への防災の啓蒙、経験のない避難所運営の体験など、参加した人々の評価はいずれも高い。流山市でも実施すべきと考えますがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 新川耕地スポーツフィールド移転先の現在の進捗状況と今後について</p>	<p>(1) 新川耕地スポーツフィールドの移転先候補地の公募により、下花輪地区と中野久木・一部平方地区の2件の応募があり、下花輪地区に決定したとの報告を受けたが、その選定理由と決定までの過程について問う。</p> <p>(2) 選定後、下花輪地区の地権者と話し合いを行っているとのことだが、仮契約に向けて現在の話し合いの進捗状況と今後の課題、見通しについて問う。また選定外となった中野久木・一部平方地区の地権者には、選定結果をどのような方法で報告されたのか。</p> <p>(3) 今後、移転先の新たなスポーツフィールドとして整備されるまでの工程について問う。</p> <p>ア 仮契約後、どのような手続きや工事の工程が必要と考えているのか。</p> <p>イ 計画設計図の作成、工事費等の予算計上はいつ頃されるのか。</p> <p>ウ 新スポーツフィールドの完成時期について</p> <p>(4) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、よりスポーツに対する関心や興味が強くなってきており、今後スポーツ人口が増加すると思われる。将来を見据えた上で、新たなスポーツフィールドをさらに1か所新設することも考えるべきと思うが、当局の見解を問う。</p>
<p>2 姉妹都市、友好都市のスポーツ交流について</p>	<p>(1) 現在、姉妹都市、友好都市とのスポーツ交流は、小学生を対象として相馬市スポーツ団体と野球、サッカー、剣道で相互交流を行っている。今後、信濃町、能登町、北上市とのスポーツ交流を進めていくべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 50年後も価値が落ちない街づくりについて</p>	<p>(1) 人口減少社会においても、選び続けられる街とするためには、街のブランド構築を徹底的に行っていく必要があると思うが、都市計画上の開発手続きの現状や課題、対策について以下の観点から問う。                      ア 流山おおたかの森駅西口パチンコ店に関する交渉の進捗と課題について                      イ デザインコードの導入可能性について                      ウ 街づくりへの住民参画のあり方について</p>
<p>2 公共データの民間開放(オープンデータ)による市民参加型の公共改革について</p>	<p>(1) オープンデータ推進の意義は、時に横断的に対応せざるを得ない市民の切実なニーズを、問題を熟知した市民やNPO、事業者と情報共有を行い、現実的、あるいは先進的解決策を連携して模索できる点にある。市民ニーズの多様化、また今後の社会福祉需要の増大を考えれば、縦割りの行政だけで公共サービスを行うには限界があるため推進は急務と考えるが、以下の2点について、市当局の見解を問う。                      ア 改めて、オープンデータの推進の意義をどのように考えているのか。                      イ アプリコンテストの今後の展望について</p>
<p>3 良質な子育て支援実現体制の構築に向けた取り組みの進捗について</p>	<p>(1) 平成27年第3回定例会の私の一般質問で質問した、子育ての様々な課題を自律的に解決する可能性がある、当事者間のつながりをつくる子育て支援体制の構築について、その肝となる人材資源育成の観点から、特に以下の2点について市当局の見解を問う。                      ア 子育て支援員の育成に向けた取り組み、展望について                      イ おやこあんしん相談の振り返り、展望について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 北部地域の冠水被害状況及びその対策について</p>	<p>(1) 本年 9 月に発生した台風 18 号の記録的な豪雨による鬼怒川堤防決壊がもたらした茨城県常総市近郊の水害は、多くの住民にとって想定外の被害であった。</p> <p>昨今の異常気象や森林の減少等の要因により、市内においても豪雨時の冠水被害は深刻な問題となっている。そこで、市内各地域の被害状況を鑑みた上での冠水被害対策について、以下 3 点について問う。</p> <p>ア 台風 18 号の影響による流山市内全域での冠水被害状況について</p> <p>イ 台風 18 号の影響により、市営住宅大橋団地周辺に避難勧告が出された。当時の被害状況と対応、今後の対策について</p> <p>ウ 市道 268 号線の東深井 873 番地周辺、スーパーマーケットベルク流山東深井店前は豪雨時に慢性的な冠水被害をもたらしているが当局の認識とその対策について</p>
<p>2 災害時における複合的な情報発信の重要性について</p>	<p>(1) 通信システムの進化は SNS などの共用により災害時にも活かされている。しかし、一方では、集中的な利用により、通話不能状態やセンターのダウンによりその全ての通信網が利用不能に陥る可能性も否めない。阪神・淡路大震災、東日本大震災時には被災地はもとより、近隣地区においても SNS と共にラジオが重宝し、アマチュア無線家の活躍があった。そこで、ICT の利用と共にアナログ的な要素も含んだ複合的な災害時における情報発信について、以下 2 点について問う。</p> <p>ア ミニ FM 局開局を含む防災ラジオの導入について</p> <p>イ 現在市内でも災害時に協力要請がなされているアマチュア無線家達との連携強化と市役所本庁舎へのアマチュア無線システムの導入について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 まち・ひと・しごと 創生総合戦略及び平成 28年度予算編成 について</p>	<p>(1) 創生総合戦略策定の根拠法では、地方都市における人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保することなどを目的にしているが、そもそも、どうしてこのような事態を招くこととなったと捉えているのか市長の見解を問う。</p> <p>(2) T X 沿線での大規模開発事業や人口誘致のための起爆剤づくりなどに行政運営上の選択と集中が行われ、地域格差への不満の広がりや、学校校舎等の計画的な維持・更新と計画的な特定目的基金への積立に支障をきたしているかと捉えている。さらには、多摩ニュータウンのように、急激な人口増は、将来的には急激な高齢化・少子化を抱える街となることが懸念されるなかで、創生総合戦略ではどう分析し、これまでの施策強化や新施策を展開しようとしているのか、市長に問う。</p> <p>(3) 平成 26 年度消費税 8 % 増税と後期高齢者医療保険料の値上げ、平成 27 年度介護保険料及び給食費、保育料の値上げ、平成 28 年度国保料及び市民総合体育館使用料などの改定、平成 29 年度消費税 10 % 増税及び後期高齢者医療保険料などの改定、平成 30 年度介護保険料及び国保広域化による国保料などの改定と、市民負担の増大が目白押しとなる可能性があるが、市民生活を守る取り組みとして創生総合戦略や来年度予算編成にどう位置付けているのか、市長に問う。</p> <p>(4) 上水道における経営戦略の策定状況について</p> <p>(5) 老朽校舎の更新改修と児童生徒増に対応した校舎増築等の課題解決について</p> <p>(6) 防災対策の強化と中央消防署移転計画について問う。</p> <p>(7) 国内総生産 (GDP) 速報値が 2 四半期連続のマイナス成長となり、創生総合戦略期間の 4 年間を見通せば、消費税 10 % 増税による消費の冷え込みと事業所納税額の負担増、軽減税率導入に伴う諸経費の負担増が予定されている。そのような中でも、創生総合戦略で『賑わいと活気に満ちた流山』を掲げる以上、農商工業事業者の願いに応える経済各種施策の拡充・強化が求められるが、どういう事業展開を今後行い、振興を図るのか。</p> <p>(8) 流山セントラルパーク駅東口及び流山おおたかの森駅北口の市有地活用に関する課題について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 高齢者と子どもの貧困問題について</p>	<p>(1) 高齢者の貧困問題について                      ア 「下流老人」「1億総老後崩壊の衝撃」の本が話題になっている。病気や事故、医療や介護、失業などによって、誰もが貧困に陥るといった状況について、どのようにとらえているか。                      イ 自治体職員や医療・福祉関係者がまずやるべきことは、生活に困っていないか聞き取り、各相談窓口へ誘導したり、早い段階で社会保障を受けるよう、促すことではないか。                      ウ 今こそ、国に最低保障年金の導入を求める時ではないか。</p> <p>(2) 子どもの貧困問題について                      ア 平成26年1月17日施行「子どもの貧困対策の推進に関する法律」によって「大綱」が閣議決定した。その目的・理念に沿った施策を講じているのか。                      イ 銚子市・母子心中未遂事件の悲劇から何を教訓とすべきか問う。                      ウ 非婚ひとり親家庭への対策として、公営住宅家賃の寡婦(夫)控除適用、保育料のみなし適用、税のみなし適用について問う。                      エ 就学援助の認定基準の引下げは絶対に許されない。制度を拡充すべきではないか。</p>
<p>2 八木南地区コミュニティ・ホームについて</p>	<p>(1) 八木南地区住民は、「幅ひろいお年寄りや子どもたちの交流の場」「老若男女の交流の場」をさらに継続発展させ、地域住民のセンターとしての機能の充実を求めている。その願いにこたえるべきではないか。</p>
<p>3 通学路関連の道路整備について</p>	<p>(1) 長崎小学校からはやぶさの森住宅方面への交差点の改良について                      (2) 東部公民館前から国道6号線に通ずる道路の改修について</p>
<p>4 グリーンバスについて</p>	<p>(1) JR・私鉄バスなど公共交通とグリーンバスが連続した移動を確保するため、日常的に交通事業者と話し合う場を設け、相互の乗り継ぎ利便の向上に努めるべきではないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 マイナンバー制度の施行について</p>	<p>(1) 税の申告その他社会保障制度の申請時において、マイナンバーの記入が無い場合も受理すべきだと思うがどうか。</p> <p>(2) 市当局のマイナンバーの管理を民間委託することについて</p> <p>(3) 市民からの苦情や問い合わせ等の相談窓口の設置について</p>
<p>2 市営住宅の増設とその管理について</p>	<p>(1) 人口増や生活保護制度での住宅扶助費の削減等により市営住宅増設への市民要望の高まりに対してどう対応するか。</p> <p>(2) 市営住宅の管理を民間委託している実態においてどういうメリット及び問題点があると認識しているか。</p> <p>(3) 市営住宅の管理を特定企業 1 社に委託していることについて問う。</p> <p>(4) 平方団地の撤去と対策について問う。</p>
<p>3 福祉手当の新条例の施行と健康福祉基金及び各種基金の実態について</p>	<p>(1) 生活保護受給者は即時福祉手当廃止という措置による影響をどう考えるか。</p> <p>(2) 健康福祉基金の新年度の計画について</p> <p>(3) 各種基金の活用実態について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 環境施策について	<p>(1) 12年経過した現在のごみ焼却施設の維持・ランニングコストは、わが党が指摘したように、重い負担になっていると考えるが、現状について問う。</p> <p>(2) クリーンセンターの建設をめぐっては、多額の事業費、談合疑惑、本格稼働後の爆発事故、運転委託の失敗、高濃度放射性廃棄物など、これまで様々な問題が起こっている。これらを総括し、今後のごみ処理行政に生かしていくべきではないか。</p>
2 介護保険について	<p>(1) 安倍首相がアベノミクスの「新3本の矢」の一つとして、「介護離職者ゼロ」をかかげていることについて、市長の見解を問う。</p> <p>(2) 介護報酬の引き下げによる介護現場の困難と緊急の診療報酬改正を求めることについて</p> <p>(3) 要支援者の新総合事業への移行の現状とこれからの課題について</p>
3 地域医療について	<p>(1) つくばエクスプレス開通後、流山市の人口が急増しているが、対応する病院・診療所の数、医師や看護師など医療従事者の数は増えているのか。また、救急医療や在宅支援診療所など地域医療の課題をどうとらえ、市としてどのような対応をしていくのか。</p> <p>(2) 「母になるなら、流山市。」と若い世代の住民誘致に力を入れてきたが、小児救急は、医師不足や不採算など非常にもろい基盤の上にある。今後、小児救急体制の強化をどう図っていくのか。</p>
4 南部地域のまちづくりについて	<p>(1) 三輪野山治水事業の進捗と今後の見通しについて問う。また、解決が急がれる三輪野山一丁目991番地地先の浸水対策について</p>

質問事項	要 旨
1 子育て支援策について	<p>(1) 女性の社会進出が進む中、初婚年齢や、出産年齢が高くなっている現状にあり、不妊に悩むご夫婦も増加している。不妊治療は保険の対象とならない治療も多く、経済的な理由で治療を断念する場合も少なくない。千葉県では、不妊治療に対する補助金制度があるが十分とは言えない。そこで、子育て支援策の一環として、流山市としても、不妊治療に対する補助金を考えるべきと思うが、当局の見解を問う。</p>
2 健康施策について	<p>(1) WHO から、胃がん発症の 8 割以上がピロリ菌を原因と報告されて以来、従来のレントゲンによる胃がん検診に加え、「胃がんリスク検診」を導入する自治体が増えている。流山市においても、健康診査に、簡易で身体への負担が少ない、採血による「胃がんリスク検診」を加えるべきと考えるが、当局の見解を問う。</p> <p>(2) 乳がん検診については、流山市の成人検診で 40 歳以上の女性を対象に、マンモグラフィー検査が導入されているが、30 歳代の女性については、問診・視診・触診のみとなっている。乳がん発症率は年々増加傾向にあり、30 歳代の若い世代の乳がん発症も増加している。そこで、30 歳代の女性については、早期発見につながる超音波検診を乳がん検診の中に加え、導入すべきではないか。</p>

質 問 事 項	要 旨
<p>1 子どもの貧困に対する市の対策について問う</p>	<p>(1) 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定されて2年、具体的な対策として「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定されて1年が経過する。この法と大綱を受けて流山市は、「教育支援」、「生活支援」、「保護者の就労支援」、「経済的支援」の分野で具体的にどのような対策を講じてきているか。また今後の方針や事業計画についてどのように考えているか。</p> <p>(2) 子どもの貧困対策のためには、まずその実態を正確に知り、その中から課題を明らかにしていく必要がある。当局は流山市内における子どもの貧困の実情をどのようにして把握しているか。東京都の足立区は子どもの貧困の実態を調査するために独自のアンケート調査と分析を実施したが、流山市も子どもの貧困の実情をより広範に、より正確に把握する取り組みを行うべきだと考えるがどうか。</p>
<p>2 児童虐待に対する市の対策について問う</p>	<p>(1) 当局は流山市における児童虐待の実態をどのように把握しているか。</p> <p>(2) 市の要保護児童対策協議会と県の児童相談所や女性サポートセンターなどとの連携はどのように行われているか。</p> <p>(3) 児童虐待対策における今後の市の課題をどのように考えているか。</p>
<p>3 原発事故に伴う子どもの健康対策について問う</p>	<p>(1) 柏市の甲状腺エコー検査で、対象者173人の内、2次検査を要するC判定の子どもが11人見つかった。C判定は福島県では1巡目検査受診者298,182人に1人、北茨城市では4,777人中2人だった。そして福島県では甲状腺がんと思われる子どもは38万人のうち137人、甲状腺がんの確定が104人、北茨城市では甲状腺がんが3,593人に3人見つかった。柏市の検査結果を市はどう受け止めているか。</p> <p>(2) 専門家の中に、福島県や北茨城市における子どもの甲状腺がんは多発とみなすべきとの見解があり、それが原発事故に由来する放射能汚染による可能性があるとの指摘もある。事故直後には1平米あたり6万から10万ベクレルでの土壌汚染の事実が示され、また高いレベルの放射性プルームが流れてきたことが明らかとなっている流山市においても、子どもの甲状腺エコー検査が求められていると考えるがどうか。</p>